

高退教が本格始動

30人から391筆の署名

高校教職員のOBがつくる、「滋賀高退協」(滋賀県高等学校退職教職員協議会)が、とりくみを強めています。1学期から数回の役員会で、議論し、機関誌でも呼びかけながら署名にとりくんでいます。9月30日現在、30人から391筆の署名が集まっています。

都市の物差しで湖北や湖西を縛るのはやめて

高退協会員の田中万祐さんから「県立高校の統廃合を考える会」に、こんな便りが届いています。「...さて、9月1日付けの滋賀高退教会長からの署名活動の要請を受け、早速、署名をお願いしましたところ、いずれの方も快くご記入いただきました。2人の小さいお子さんをお持ちのかたからは、地元伊吹高校がなくなるのは大変困るとの意見が強く出されました。...1学年4学級の小規模校が湖北地方では適正規模であっても良いと考えています。地域の実情をしっかりと把握し、都市偏重の物差しで湖北や湖西を縛るやり方はやめて欲しいと強く訴えたい」。1000円のカンパを同封する人もいます。



速報に感想が

よく聞く「嘉田知事がこんなことを」の声

職場から、メールで統廃合速報の感想が寄せられましたので、紹介します。

大津清陵の藤本です。統廃合のニュースをいま読ませてもらいました。感想です。

「嘉田知事がこんなことを」という感想は石山駅で署名をした先生も聞いたそうです。嘉田知事と統廃合問題の関係を具体的にしてもらえような速報があるといいかも。意外だと思っている県民は多いだろうし、いったい誰がこれをやろうとしているのかという責任者を明確にする必要があると思います。

署名用紙の反対する理由の箇条書きの文章がよく練れていますね。とても説得力があります。

市場の論理から地域(共同)の論理へ。地域という言葉、概念が力を持っていますね!

湖北の高校を守る会の結成はすごいですね。今までこんな幅広い共闘はあったでしょうか?

上の「嘉田知事がこんなことを...誰がやろうとしているのか...責任者を明確にする必要がある」などは、とても建設的で的を射た指摘だと思います。これからの速報や運動に必ず生きてくると思います。職場と本部の双方向のやりとり、「響き合い」です。

職場での動きを、小さなことでも大きなことでも、お知らせ下さい。速報、情報、運動全体への批判も含め率直な意見をどしどしお寄せ下さい。



高校統廃合はストップせよ
速報 第23号 2010/10/1 発行：滋賀高教組

(増し刷りして全教職員に配布し、また掲示板に貼るなどして下さい)